

令和7年度第1回大分県高齢者福祉施策推進協議会 議事概要

1 日 時 令和7年9月30日（火）13：30～15：00

2 会 場 大分県庁 本館 2階 正庁ホール

3 出席者

（委員）20名中17名出席（うち1名代理出席）

佐藤会長、内田副会長、阿部委員、市川委員、伊藤委員、内野代理、小野委員
加来委員、川野委員、河村委員、工藤委員、後藤委員、下田委員、中野委員
藤澤委員、牧（久）委員、松本委員

※欠席：高橋委員、土居委員、牧（達）委員

（事務局）

首藤福祉保健部長

渡邊高齢者福祉課長、赤峰主幹（長寿・援護班総括）

阿南主幹（地域包括ケア推進班総括）、

塩月主幹（介護保険推進班総括）、須浦主幹（介護サービス事業班総括）、

野中主幹（人材確保・DX推進班）、福山主事（長寿・援護班）

ほか関係課室（幹事等）

4 議 題

- （1） 「おおいた高齢者いきいきプラン＜第9期＞」の令和6年度進捗状況等について
- （2） 地域医療介護総合確保基金に係る県計画（介護分）の令和6年度進捗状況等について
- （3） 意見交換

5 会議経過

議題（1）（2）について、事務局から以下の資料に基づき説明を行った。

- ・資料1：「おおいた高齢者いきいきプラン＜第9期＞」の令和6年度進捗状況等について
- ・資料2：地域医療介護総合確保基金に係る県計画（介護分）の令和6年度進捗状況等について

（3）の意見交換も含めた、主な質疑・意見は以下のとおり。

<介護の魅力発信について>

●下田委員

ノーリフティングケアの推進などで若い世代に介護の魅力が浸透するような取り組みをして欲しい。

○廣門介護システム改革推進監

介護の魅力発信は県として大変重要と認識しており、今年度の新規事業として、11月3日に介護に特化した大型イベント「福祉・介護魅力発信フェス」を大分駅前広場で実施する予定です。

<認知症サポーターに就任後の活動の場の整備について>

●中野委員

認知症サポーターに就任後の活動の場の整備について令和7年度はどのような取り組みをする予定でしょうか。

○渡邊課長

現在13市町村にあるチームオレンジを18市町村へと広められるようにオレンジチューターを派遣し、伴走型支援に取り組んでいく予定です。

<介護予防ケアマネジメント支援システムの改修について>

●伊藤委員

現在介護予防ケアマネジメント支援システムの改修のところでモデル事業を実施したのが5市町村ということでしたが、今後増える見込みはありますか。

○渡邊課長

現在導入していない市町村にもこのシステムの魅力を理解していただく説明会を実施しており、18市町村が実施できるように取り組んでいるところです。

<県内の介護職員数について>

●松本委員

県内の介護職員数の最終目標達成に向けて現在の状況を教えてください。

○廣門介護システム改革推進監

最終目標の数値は国のツールを活用して3年ごとに算出する介護人材の需要となりますが、外国人介護人材を含めた多様な人材の参入促進による人材確保はもちろんのこと、ICT機器など活用し、業務の効率化や職員の負担軽減を図り、少人数で質の高いサービスが提供できる体制づくりにより、人材需要自体を減らせるよう取り組んでいるところです。

<スキルアップアドバイザーについて>

●加来委員

スキルアップアドバイザーの今後の取り組みについて教えてください。

○渡邊課長

県内の事業者には東京と関係のある事業者がおり、そちらに委託をしています。そちらの事業者にはアドバイザーがおり、県内事業者とやり取りをしているところです。来年度以降の

取り組みを拡充していくかは今後検討していきます。